

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和6年度 西春別中学校 第10号

こととい

令和6年12月25日 発行

＜ 校 訓 ＞
自 主 友 愛 有 能

＜ めざす生徒像 ＞

- ・自ら学び考える生徒
- ・心と体を鍛える生徒
- ・協働する生徒
- ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

普通の人？

西春別中学校長 綾野 正巳

最近、闇バイト関連の強盗事件が多発し、ニュースを見るたびにいたたまれない感情が込み上げてきます。そして、闇バイトの実行犯役が捕まると、普通の学生、普通の社会人だった、指示役に弱みを握られ、仕方なく実行犯となったという報道のされ方が多かったように思います。しかし、実行犯は本当に普通の人なのでしょうか？マスコミがいう普通の人とは、実にあいまいだと感じています。私は、実行犯は決して普通の人ではないと思っています。普通の人には正しい判断力が身に付けているはずで、つまり、正しい判断力を身に付けていなかったから実行犯になったのではないのでしょうか。

なぜなら、普通の人なら、仮にお金に困っていたとしても、SNSなどで素性のよくわからない求人情報を見てバイトを探すということはしないはずで、ましてや、匿名性の高いサイトに誘導された時点で、相当な不審感を抱くはずで、そもそも、「楽しんで儲かる仕事」など簡単にあるわけではないですし、怪しい文句を見ると、正しい判断力が身に付いている人は、「このような仕事にはかかわらないほうがよい」と思うはずで、仮に、応募した後に、仕事内容を聞かされ、「ブラック案件」、あるいは「犯罪」とわかった時点で断ったり、逃げ帰ったりするのが普通の人ではないのでしょうか。事実、闇バイトに応募した何人かは「自分にはできない」と逃げ出す人もいます。

しかし、実行にまで至った人々は、そこでも思いとどまることなく、人を殴ったり、死に至らしめたり、金銭を奪ったりするのは、普通の人なら、「物を盗んではいけない、人を傷つけてはいけない、自分の家族を悲しませてはいけない」と生理的なブレーキがかかるはずで、

そのブレーキこそ、正しい知識、情報を選択する力に基づいた「正しい判断力」ではないのでしょうか。この力を育むことこそが「教育」の大きな目的であると痛感した1年でした。学校、家庭、地域が協力して、子どもたちに愛情を注ぎ「正しい判断力」を育てていきましょう。

感謝

「ピンチかチャンスかは、考え方次第」令和6年度は、職員が半数近く減った中でのスタートとなりました。そんなピンチな状況の中、生徒達、職員は本当によく頑張り、ともに大きく成長することができた1・2学期でした。

生徒達のチームワークは素晴らしく、力強く躍動する勇姿が見られた体育祭、素晴らしい歌声を響かせた文化祭、節目ごとに成長していく姿に逆境を撥ね退けるたくましさを感じました。そして、対話的な学びを重視した日々の授業にも意欲的に取り組むことができました。

先生が少ない分、自立心をもって頑張った生徒達、少ない人数でも生徒のことを大切に思い、日々の教育活動に邁進した職員、そしてそれを温かく見守り、協力して下さった保護者の皆様、地域の皆様に感謝しています。ありがとうございました。

12月に別海町の議会で最終的に承認されましたが、
『令和8年度に、西春別学校区は、上西春別学校区と統合します。』
12月19日には西春別学校区閉校記念事業協賛会「総会」が行われました。
今後もPTA・地域の皆様のご支援・ご協力をお願いすることになるかと思っておりますので、来年もよろしくお願ひいたします。